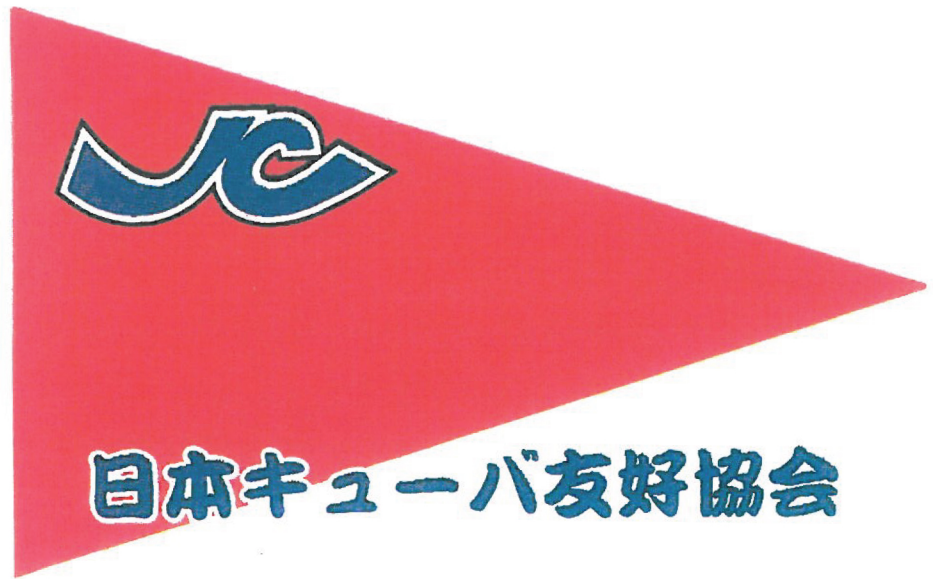


50

日本キューバ友好協会

# 50 年のあゆみ

1963→2013



# 「日本キューバ友好協会 50年のあゆみ」刊行にあたって



日本キューバ友好協会は、1959年キューバ革命勝利の4年後、1963年2月に創立された。新生キューバのフィデル・カストロ政権が対米自立、農地改革、一部外国企業の国有化等の方針をとったことに反発して、米国CIAは、主として亡命キューバ人からなる傭兵軍を組織・訓練して、1961年4月には、プラヤ・ヒロンに侵攻させたが、これは、キューバ国軍・民兵の反撃に遭い、みじめな失敗に終わった。しかし、米国は1962年からは、公式な対キューバ経済封鎖を行う一方、マングース作戦などのテロ活動を展開し、1954年にグアテマラのアルベンス政権を打倒したように、カストロ政権を打倒しようと試みた。カストロ政権は、革命防衛委員会などの地域組織の強化によって反革命テロに対処する一方、1961年には全国的な識

字運動を展開し、民主主義の基盤の強化によって革命の成果を守ろうとした。

日本で新生キューバの存続可能性に危機感を抱いた人々、その対米自立的な外交政策や平等主義的な経済政策に同感した人々、キューバの識字教育を支援するためにエンピツを送ろうという運動を始めた人々、キューバのルンバやマンボといった音楽、クラシック・バレエをもともと愛していた人々等、こういう多様で広範な人々が集まって、日本キューバ友好協会を組織したのである。

それ以来50年、キューバ自体にも前進や後退があり、ソ連崩壊後の「特別な時期」には存続の危機すらあったのと同様に、日本キューバ友好協会にも、有為変転があり、変容があった。

本小冊子『日本キューバ友好協会 50年のあゆみ』は、主として機関紙『日本とキューバ』や残されている議事録等の資料にもとづいて、当協会の半世紀にわたる歴史の素材を客観的に記述したものである。歴史には、事実分析と評価が不可欠であるが、本小冊子は分析と評価にわたる部分をできるだけ禁欲し、現時点で正確と思われる事実のみを提供しようと努めた。歴史というよりも、歴史の素材といった所以である。本小冊子を資料の一つとして、将来、本格的な『日本キューバ友好協会史』が出来上がることを期待したい。

評価を避けたといっても、本小冊子には、半世紀にわたってこの協会を担ってきた人々、協会を支援し、協会への協力を惜しまなかった国内外の人々への感謝と尊敬の思いが貫かれている。本小冊子を刊行できた機会に、これらの人々への感謝をあらためて表明したい。

本小冊子は、長谷川朗常任理事が膨大な資料を渉猟して原稿を作成して、機関紙『日本とキューバ』第322～第328号に連載し、それを役員会やメーリング・リストを通じて集团的に校閲して出来上がったものである。協会として、長谷川朗常任理事の特別の労を多とすると同時に、ありうべき過誤については、読者から忌憚のないご指摘をいただき、将来、より完全な『あゆみ』を作成することに役立てたいと思う。

2013年2月16日

日本キューバ友好協会理事長 鶴田満彦

## 歴代理事長

初代理事長	堀 真琴	1963～
2代理事長	石原 忠男	1975～
3代理事長	岡部 廣治	1987～
4代理事長	鶴田 満彦	2004～

発行日 2013年2月16日

# 日本キューバ友好協会50年のあゆみ

1963 → 2013

1959年 1月 キューバ革命勝利

1961年

1月 キューバでは全国で文盲一掃運動が開始される。10月 キューバ大使館に出入りする日本人有志の会で、キューバに鉛筆を贈る事を申し合わせる（新宿・厚生年金会館）。4月17日 米国の傭兵軍がプラヤ・ヒロンを攻撃。4月19日 キューバは侵略軍を撃破する。

1962年

9月 協会設立準備第1回世話人会を開く。10月 「キューバ危機」勃発。米国のキューバ敵視政策に対して日本では民主勢力が「キューバを支持する」として各地で運動を展開する。

1963年

2月16日 「日本キューバ友好協会」創立総会 東京・国労会館ホール 約200名参加。

選出された監事と理事。監事 岩崎正治、中島州嶽、柳沢恭雄。理事 相田百世木、青柳盛雄、秋庭稔男、足立利幸、阿部知二、有馬徹、○池上幹徳、石井あや子、○石川利二、○板井庄作、井出文子、○伊藤成彦、今井勇蔵、江口朴郎、大久保光夫、大沢三郎、大谷竹男、○大野勇、岡倉古志郎、岡本二三男、奥村皓一、○小田切秀雄、○亀山旭、川田泰代、木内昭一、木下順二、木下半治、蔵原惟人、黒田秀俊、小林雄一、○金野新一、○坂藤忠四郎、坂本徳松、塩谷アイ、○管原志有次、鈴木一雄、○すずきけんじ、鈴木穆、関鑑子、高倉テル、○田中正男、谷みゆき、○津上英子、土屋善夫、手塚治虫、寺尾五郎、鳥海滋、永田文夫、中島和子、中島健蔵、長島又男、中田修、中西義郎、西田勝、ぬやまひろし、羽倉正明、畑中政春、羽仁五郎、羽仁説子、樋口弘、日高六郎、平野義太郎、福田徳蔵、○帆足計、細倉民也、細迫兼光、○堀真琴、牧野弘之、松岡洋子、松山樹子、見砂直照、室俊司、森信義、森岡障一、山崎功、○山田和夫、○山本満喜子、吉川勇一、吉田和昭、○吉田嘉清、○吉村金之助、陸井三郎（敬称略・あいうえお順・○印は常任理事）。



初代理事長に堀真琴氏を選出。事務局長に池上幹徳氏。

4月1日「日本とキューバ」創刊号発行（タブ4ページ）、1面で堀真琴理事長は「キューバを正しく知ること」と訴える。2面では「運動方針」、3面では「規約」と駐日キューバ大使ギジェルモ・レオン・アンティッチ氏の挨拶を掲載。4月11日 協会創立記念映画の夕べ、東京・豊島公会堂。4月17日 キューバ国際連帯デー。5月1日 「日本とキューバ」2号発行 日本報道写真家集団の近藤彰利氏、新潟日報労組委員長水品一昭氏、総評教育宣伝局真木嘉徳氏の3名がキューバのメーデーに招待された記事を掲載、新理事として山本忠志、君塚知子、熊谷茂雄、小海永二、常任理事として小林勇、帆足まり子の追加発表。ソ連映画「燃え上がる島キューバ」全国自主上映運動に協力、上映運動を通じて会員が増え、700人に達した。6月21日 キューバ駐日大使レオン氏と初めての懇談会、各界約70名が参加、学士会館本郷分館。7月 「キューバに文房具を送ろう」の運動

に取り組む。10月18日 第2回臨時総会。12月 協会事務所を神田錦町に開設。12月2日 朝日支部 第1回の総会 毎月26日を例会の日と決めて活動を開始した。12月26日 虎ノ門で婦人の懇談会 東京合同法律労組婦人部と虎ノ門周辺の新婦人のきずな班の共催。大使館からはマルティネス参事官、リモンタ事務官、希代統氏（通訳）が参加。

## 1964年

2月 キューバ外務省提供の「革命十年のキューバ」の写真展を大使館との協力で、東京・名古屋・京都・大阪で開催し成功。5月 坂藤忠四郎組織部長、三吉常雄氏（全日自労）佐々木寅雄氏（全林野）が協会代表として、メーデー招待を受けキューバへ。6月28日 第3回定期総会 豊島振興会館。10月 東京オリンピック参加キューバ選手団（40名）歓迎会 東京プリンスホテル 各界から2百数十名が参加。

## 1965年

1月「日本とキューバ」22号 東北大学支部・札幌支部準備会・朝日支部から新春のメッセージ。1月 池上幹徳副理事長、協会代表として、革命記念日招待を受けキューバへ。2月 協会創立記念「講演と映画の会」新宿・厚生年金会館。4月 プラヤ・ヒロン戦闘勝利4周年記念友好と連帯の集会 参議院議員会館。7.26 親善視察団協会代表キューバ訪問。10月 キューバ共産党結成。10月2日 第4回定期総会（日ソ学院）。12月9日 マヌエル・クエルボ氏、駐日キューバ大使着任。

## 1966年

1月「日本とキューバ経済・貿易懇談会」発足。スペイン語を学ぶために「ラテンアメリカ研究所」をつくる。2月8日 キューバ新駐日大使マヌエル・クエルボ氏歓迎会（市谷私学会館）。写真。4月19日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利5周年記念集会（新宿文化会館）。5月1日 「日本とキューバ」31号 1966年度方針を掲載 ①7.26 記念集会を各地で成功させよう②原水禁大会に参加するキューバ代表を歓迎しよう③在キューバ漁業センターで行う漁業指導者の派遣を援助しよう④キューバ船員の入港を各地で歓迎しよう⑤キューバ展を東京で開催しよう⑥「アメリカの家」で行う創作募集に日本からも参加しよう⑦キューバ書物の日本語発行をすすめよう⑧キューバを紹介する各種催しや企画を立てましょう。5月8日 日本キューバ交流相模湖ハイキング、35名参加。6月5日 第5回定期総会（原宿・全造船会館）。12月 日本キューバ友好ダンスパーティ（渋谷）、約120名参加。



## 1967年

5月 「国際バレーフェスティバル」に谷桃子氏招待される。メーデー記念招待で協会代表君島猛雄氏らキューバを訪問。6月11日 第6回定期総会（渋谷・金属会館）。「日本とキューバ」37号、日本政府への抗議文、キューバ人民へのメッセージを掲載。B5版横型4ページ、手書き・ガリ版印刷。7月 日本キューバ経済貿易懇談会。7月26日 モンカダ蜂起14周年記念「キューバ、ラテンアメリカ人民との三大陸連帯日本集会」を日本AAと共催（青山・全銀連会館）。10月 チェ・ゲバラ、ボリビアで戦死。12月12日 キューバを訪問した大沢三郎都議を招いて日本キューバ経済貿易懇談会。12月14日 クエルボ大使講演会「キューバにおける経済発展」（信濃町・東医健保会館）。

## 1968年

1月4日～11日 ハバナ文化会議に窪田精・松本清張・羽仁進・山本薩夫・本田良介・山本進・見砂直照の7氏が参加。1月15日 「日本とキューバ」40号発行、今年から表紙を固定、グリーンの色紙に本文の2色印刷。1月28日 日本キューバ友好協会兵庫県支部設立準備委員会主催で、キューバ船上における日本キューバ両国

人民の交歓会、46名が参加。

2月27日 マルセロ・フェルナンデス貿易相を招いて懇談会。5月19日 第7回定期総会(国労会館)。7月19日～21日 キューバの写真民芸展示会(有楽町・交通会館)。7月25日 7.26蜂起15周年記念キューバ人民との連帯集会(虎ノ門・発明会館)。10月 ゲバラ戦死1周年追悼集会(新宿・厚生年金会館)。10月28日 日



本国際貿易地方議員連盟は昨年引き続き産業・経済視察団をキューバに派遣した。団長は浅田貢大阪府議会議員、三谷秀治・田中義一・坂井鶴和・杓拔猛・池田香(以上大阪府議会議員)、源孝強・原田善一郎(以上京都府議会議員)、志苫裕新潟県議会議員、清正宮崎県議会議員、米田健一富山市議会議員、以上11名。11月10日 日本キューバ友好・秋のピクニック(埼玉・長瀬溪谷)。写真。

## 1969年

2月 キューバで砂糖一千万トン生産運動がはじまり、国際的にも勤労奉仕運動がおこる。3月20日 「革命勝利十周年、ゲバラ選集日本語版発刊記念・キューバの夕べ」講師、クエルゴ大使・松本清張氏。約700名参加(有楽町・朝日講堂)。5月15日 「日本とキューバ」51号発行、総会の案内、神戸キューバ展の案内、機関紙の4カ月休刊の「お詫び」を掲載。5月22日～27日 神戸で「キューバ展」、協会関西方面の支部と国際貿易促進地方議員連盟共催で開かれ大成功をおさめる。6月8日 第8回定期総会(飯田橋・富士紡労働会館)。7月 日本キューバ友好学生ゼミナールに代表団を派遣。7月28日 7.26蜂起16周年記念の夕べを日本AAと共催(お茶の水・雑誌会館)。9月 世界で初めて集大成となった「ゲバラ選集」(全4巻)が青木書店から刊行、協会が中心的役割をはたす。

## 1970年

キューバの砂糖増産運動に連帯・支援しキューバの経済建設状況の紹介に取り組む。7月5日 第9回定期総会(渋谷・金属労働会館)。兵庫県支部の活動を通じ「錦鯉」との交換で、神戸の須磨水族館へハバナの水族館から「マンファリ」(淡水ハイ魚)が贈られる。「一千万トン砂糖生産運動に千ダースの作業手袋を贈ろう」の運動を展開、総額25万円の手袋を贈る。7月 協会代表、7.26記念集会に招待される。7月 日本キューバ友好ゼミナール代表団、キューバを訪問。10月 医師グループの医療事情視察訪問団(万代敬三団長ら4名)キューバを訪問。12月17日 日本キューバ友好ダンスパーティ、54名参加(金属労働会館)。年間を通じて兵庫県支部の「マニアーナ」「ソリダリダー」、朝日支部の「キューバ・シー」、東海支部の「プエブロ」、佐久支部の「佐久とキューバ」など各支部で機関紙を発行。

## 1971年

2月 カプリサス氏、駐日キューバ大使に着任。7月 7.26記念で、君島猛雄副理事長・中島嶽常任理事が協会代表としてキューバ訪問。11月6日 第10回定期総会(法政大校友会ホール)。12月 「キューバ・メキシコ美術の旅」を組織、画家など12名が参加。

## 1972年

2月18日 キューバの印象を語る会、約40名参加(雑誌会館)。4月14日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利13周年記念の夕べ、114名参加。5月 協会推薦で内山俊光夫妻がキューバ日本語学校の教師としてハバナへ赴任。劇団民芸の「ハバナの審問」上演に協力、写真・ポスターなど展示。10月28日～29日 第11回定期総会、理事長に堀真琴氏、監事に北野大介氏、山根昭登氏、61名の理事を選出。(全銀連会館)。

## 1973年

12月 協会事務所を神田錦町から内山俊光氏宅に移転。

## 1974年

4月 インチャウステギ氏、駐日キューバ大使に着任。4月19日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利14周年記念・日本キューバ友好連帯の夕べ、約80名参加(蚕糸会館)。8月 ICAP(キューバ諸国民友好協会)のイボール氏、キューバ代表として原水禁世界大会に参加し、協会と交流。9月 協会事務所を港区西新橋に開設。11月 常任理事会は事務所開設募金を呼びかける。12月 ICAPとの「活動計画案」の検討をはじめ。12月機関紙発行を積極的にはじめる。

## 1975年

1月28日 「日本とキューバ」65号、榎田ふき婦団連会長の「キューバ訪問記」を掲載。2月9日 全国理事会(代々木生協会館)。日本キューバ友好協会の「JC バッジ完成」1個 300



円。版画家鈴木賢二氏(元協会常任理事)が「旗」と「バッジ」をデザインした。写真。4月19日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利14周年記念連帯集

会、約70名参加(蚕糸会館)。4月 藤沢市で「キューバ展」盛大に開催。5月25日 第12回定期総会(新橋・農業土木会館)

理事長 石原忠男。副理事長 小林勇、南雲清、木田和雄。監事 鳥海滋、菅原誠。理事 会沢正元、○青柳四郎、荒井忠志、○荒木繁、○石川利二、上田恵、○内山俊光、江口朴郎、大窪育、大沢三郎、大西基夫、○加藤恵司、○加藤正敏、○希代統、○君島孟雄、窪田精、久保博、○下司順吉、○兼城一、小森秀三、四方和夫、○新庄修、新藤通弘、鈴木和弘、副島正幸、高橋勝之、○武田信照、○田中正男、谷口圭一、塚田大願、都筑武、土井正興、梅野淑子、徳永瑞夫、○中島州嶽、○西尾祐男、西山卯三、細井宗一、○松尾恵子、○松田茂久、見砂直照、○三好四郎、森岡隴一、泰平国男、柳沢恭雄、山口文也、○山崎英明、山田和夫、山根昭登、○渡辺臣蔵(○印は常任理事)。



7月29日 モンカダ兵営襲撃22周年記念日本キューバ友好の夕べ、約60名参加(お茶の水労金会館)。8月30~31日 全国活動者交流会(愛知・風来山)。9月20日 朝日支部第11回総会、小林副理事長・内山常任理事出席、二十数名の会員の確認。12月17~23日 キューバ共産党第1回大会、社会主義経済建設第一次五カ年計画採択。12月18日 キューバの女性歌手・ミリアム・ラオスさんを囲む「音楽交流の夕べ」(新宿)。12月21日 第3回常任理事会 山梨支部創立承認。写真は会報70号。

## 1976年

1月25日~29日 ホセ・マルティ生誕記念「日本キューバ友好週間」、キューバ写真展・祝賀パーティ・キューバ音楽の演奏・映画と講演など参加者のべ500名(労音会館)。2月 キューバ共和国憲法制定・施行。4月16日 ICAPと友好協定の締結(ハバナ・協会代表石原忠男理事長、希代統常任理事)。写真は協定書に調印するアバスカル ICAP 副総裁と石原理事長。4月28日 プラヤ・ヒロン勝利記念「協会代表帰国報告会」、40名参加(厚生年金会館)。5



月21日 第13回定期総会参加のため ICAP 代表団(エラディオ・アギラール・ロドゲリス副総裁、エリオ・

エスキベル日本担当官) が来日、千葉・山梨・京都・大阪・兵庫・東海・朝日の各支部・準備会を訪問・交流、広島原爆資料館を見学。5月23日 第13回定期総会、約70名が参加(芝・郵便貯金会館)。6月12日～13日 京都支部、映画と講演の夕べ、写真とポスター展、石原理事長・クレルジュー等書記官が参加。のべ110名参加。7月26日 モンカダ兵営襲撃23周年記念日本キューバ友好の夕べ、60名参加(労音会館)。8月10日 第22回原水禁世界大会に参加のため来日したアルトゥーロ・エスピノサ・ICAP 総裁の歓迎集会(私学会館)。9月8日 第1回キューバ訪問、協会代表団4氏出発(神代修・安藤次男・西村富明・大津昭一郎)。9月20日 機関紙78号発行、キューバで人気を呼んでいる日本映画「座頭市」、「イチ」「イチ」と歓迎された俳優勝新太郎さんの記事を掲載。10月9日～11日 第18回赤旗まつりに出店、キューバのカクテル「ダイキリ」を普及、日本キューバ友好協会を宣伝。11月13日 キューバ友好訪問団帰国報告会(平和と労働会館)。12月16日 グランマ号上陸20周年記念日本キューバ友好の夕べ、95名参加(生協会館)。

## 1977年

2月17日 広尾の新装なったキューバ大使館で「キューバ共産党創立者、アントニオ・メーヤの生涯」の映画会。4月9日 キューバの世界的な詩人ニコラス・ギリエン氏来日のためのカンパを訴え、141名が募金。4月16日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利16周年、友好協力協定締結1周年記念の夕べ、約40名参加(新橋・農業土木会館)。6月5日 第14回定期総会、約40名参加(日本女子会館)。7月30日 ICAP 副総裁ホルヘ・ガヤルド氏歓迎、モンカダ蜂起24周年記念日本キューバ友好の夕べ。71名参加(日本女子会館)。11月3日～30日 キューバポスター展、京都府とキューバの文化交流が多彩に進む(ホテルフジタ・京都)。11月26日 77年度キューバ友好訪問団出発、内山俊光常任理事・谷口圭一理事・斉藤茂夫・胡麻元蕪一東海支部会員・池田倫子会員。12月4日 インチャウステギ駐日大使夫妻、マレーシアで航空機事故にあい死去。12月7日 大使館で弔問式、協会員多数参加。12月22日 日本キューバ友好の夕べ。65名参加(生協会館)。

## 1978年

2月9日 協会創立15周年記念招待、協定調印代表団出発(团长、石原忠男理事長)。4月 ホセ・A・ゲーラ・メンチェロ氏駐日大使着任。4月9日 ニコラス・ギリエン氏夫妻とE・フェラウディ氏来日、以後24日の帰国まで東京・広島・京都・大阪で懇談や交流会に出席。広島市長・大阪府知事への表敬訪問、原爆慰霊碑献花を行う。4月11日 ニコラス・ギリエン氏歓迎レセプション、各界の代表180名が参加(日本教育会館)。写真。5月15日 帰任するバルビン参事官と後任のムニョス氏の歓送迎会(銀座)。7月20日 第11回世界青年祭典・統一代表団ハバナへ出発、協会代表として小松みゆき氏が参加。写真。8月10日モンカダ兵営襲撃25周年記念・友好の夕べ、約40名参加(私学会館)。9月23日 ぶどう狩りバスハイク、日本キューバ家族を含めて54名が参加(山梨・石和)。10月10日 第15回定期総会(労音会館)。12月 77年度キューバ友好訪問団の斉藤茂夫氏(記録映画作家)が自動スライド「社会主義キューバ」を製作。12月15日 日本キューバ友好・年末パーティ、130名参加(生協会館)。



## 1979年

1月31日 キューバ革命勝利20周年記念祝賀会、家族を含め100名の参加(日本女子会館)。3月15日 機関紙89号(タブ6ページ) 革命勝利20周年記念特集号 石原忠男理事長の祝辞、ホセ・A・ゲーラ・メンチェロ駐日キューバ大使の挨拶、キューバ革命20年の歩み、キューバ主要経済の発展概要を掲載。4月24日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利18周年記念日本キューバ友好の夕べ、ラテンアメリカ研究家の後藤政子氏が「革命20周年を迎えたキューバ」と題して記念講演、40名が参加(渋谷・勤労福祉会館)。5月5日 第22回子どもま

つり、日本・キューバ家族を含め 30 名が参加（代々木公園）。5月20日 第16回定期総会、7月にキューバ革命 20 周年「革命週間」を企画。各支部から理事の選出、京都支部・東海支部・京都支部・千葉支部（準）・兵庫支部・大阪支部・朝日支部・佐久支部・東工大支部・山梨支部。7月 ニカラグア人民、ソモサ独裁政権を打倒し革命成功。7月23日～25日 革命週間（水道橋・労音会館） キューバポスター展、7月23日 映画と講演の夕べ、「モンカダは何故起こったか?」「侵略者に死を!」を上映、「キューバ革命の世界史的意義」と題して岡部広治福島大教授が講演、80名が参加。7月25日 音楽文化集団ともしびの協力で「日本キューバ音楽の夕べ」、110名が参加。7月26日 大阪支部 キューバ友好の集い（なにわ会館）。11月14日 キューバ情勢講演会、土生長徳法政大教授が「非同盟問題とキューバ」と題して講演、35名参加（渋谷勤労福祉会館）。12月14日 日本キューバ友好年末パーティ、80名参加（千駄ヶ谷生協会館）。

## 1980年

1月16日 初代理事長堀真琴氏死去。1月30日 革命21周年記念キューバ情勢講演会、岡部広治福島大教授が「キューバの社会主義建設」として講演。37名参加（渋谷勤労福祉会館）。3月31日 堀真琴初代理事長の「追悼の集い」、各界・各団体から多数の追悼の言葉と決意（神田・学士会館）。4月30日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利19周年記念「キューバ情勢講演会」、ラテンアメリカ研究家の後藤政子氏が「今日のキューバ経済」と題して講演（渋谷・勤労福祉会館）。5月25日 第17回定期総会、40名参加（渋谷勤労福祉会館）。7月12日 兵庫県支部 「キューバ音楽とダイキリの夕べ」。7月21日 日本キューバ友好ビアパーティ、40名参加（新宿・ともしび）。7月31日 モンカダ兵営襲撃27周年記念「7.26 記念講演会」、キューバ問題研究家の石山登氏が『「亡命」問題と今日のキューバみたまま』と題して講演、32名参加（渋谷勤労福祉会館）。8月7日 原水禁世界大会に参加した ICAP のフランシスコ・トスコ氏と協会役員が懇談会（キューバ大使館）。10月15日 機関紙100号を発行、キューバ観光旅行団の報告（総勢20名、団長＝日暮学常任理事）。世界アマチュア野球選手権「キューバ対日本」の観戦記を掲載。10月19日 日本キューバ友好高尾山ハイキング、43名参加。10月25日 「北奥羽ラテンの集い」、仙台・秋田・青森・弘前から16名が参加（青森市浅虫温泉）。11月28日 ICAP 創立20周年・キューバ初の宇宙飛行祝賀「キューバについて語る会」、キューバ問題研究家の石山登氏が「ラテンアメリカの現状——キューバ、ニカラグア周辺」と題して講演。日暮学常任理事がスライドを使って「キューバの素顔」を報告（渋谷勤労福祉会館）。12月19日 日本キューバ友好年末望年パーティ、100名以上が参加（生協会館）。

## 1981年

1月12日 スペイン語教室開講、入学金3,000円、受講料20,000円、講師＝高橋早代さん（マドリド中央語学院スペイン語科卒業）。2月9日 元巨人軍監督の長嶋茂雄氏が訪問中のキューバでロドゲリスさん等キューバ野球チームの選手と歓談。2月26日 キューバ情勢講演会、第2回キューバ共産党大会に出席した増田紘一理事が「中南米情勢とキューバ」と題して講演、35名参加（水道橋・労音会館）。4月5日 日本キューバ友好交流会、向ヶ丘公園で民家園見学とバーベキュー、80名参加。4月16日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利20周年「映画と講演の夕べ」、ラテンアメリカ研究家の後藤政子氏が「アメリカの中米政策とキューバ」と題して講演、ドキュメンタリー映画「侵略者に死を」を上映、42名参加（渋谷勤労福祉会館）。5月31日 第18回総会、約40名参加（渋谷切勤労福祉会館）。**写真は機関紙106号、第18回総会の記事。**



来日したキューバ日本人会会長内藤五郎氏を囲んで「友好ビアパーティ」、50名参加（新宿・ともしび）。7月9日 キューバの音楽グループ「テ・コン・エ」を囲んで「日本キューバ友好の夕べ」、48名参加（労音会館）。7月19日 7.26 記念「ラテン音楽とキューバを語る集い」、ラテン音楽解説者谷川越二氏が「ラテン音楽とキューバ」を講演、45名参加（五反田・希望）。8月1日 京都・大阪・兵庫3支部共催の「モンカダ蜂起28周年記念・日本キューバ友好京都集会」、京都支部事務局長・安藤次男立命館大学助教授が「キューバの歴史と社会」、石山登常任理事が「最近のキューバ」と題して講演、各支部の交流を行



う（京都・立命館大学平野会館）。11月4日 キューバの近況を知る会（第1回）、フジTV記者の辻川一徳氏、今夏訪問団の団長南雲清副理事長、団員の松原明氏が報告、35名参加（渋谷勤労福祉会館）。11月8日 古都鎌倉で日本キューバ友好のハイキング、47名参加。11月13日 「レーガン政権の危険な干渉政策に反撃を！」という石原忠男理事長談話を発表し、アメリカ大使館などへ送付。

## 1982年

1月29日 「キューバの近況を知る会」（婦人から見たキューバ）、講演は日本婦人団体連合会の守屋武子事務局長、ハバナ大学に留学した長津久子大学院生、30名参加（渋谷勤労福祉会館）。2月16日 晴海に停泊中のキューバ船「オセアノ・パシフィック」号の船員3人が協会事務所を訪問、歓談。3月19日 「中米・カリブ海諸国人民のたたかいとの連帯の集い」、日本AA・東京AAと共催。岡部広治津田塾大教授が「緊迫する中米・カリブ海情勢」を講演。90名参加（新宿農協会館）。3月25日 「ラテン音楽の魅力を語る会」（五反田・希望）。4月11日 春の野外交流会、60名（横浜・山手公園）。4月16日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利21周年記念「映画と講演の夕べ」、ドキュメント「侵略者に死を！」を上映、2月にハバナで開かれた第10回世界労組大会へ日本代表団長として参加した中西五州建設一般全日自労委員長が「民族自決権のためのたたかいとキューバ」を講演。（労音会館）。4月21日 ゲーラキューバ大使が佐賀県を訪問し佐賀会員と懇談と交流。**写真は焼鳥屋で懇談するゲーラ大使。**5月30日 第19回総会（神田・総評会館）。6月29日 キューバ大使と協会役員の定例懇談会（キューバ大使館）。7月13日 スペイン語教室第1期生卒業記念弁論大会、40名参加（キューバ大使館）。7月22日 モンカダ兵営襲撃29周年記念「現代ラテンアメリカについて考える会」（労音会館）。7月31日 日本キューバ友好夏の交流会「東京湾一周納涼船」約30名が参加。8月28～29日 協会会員の夏季合宿・学習会（八ヶ岳）。8月31日 ヒスパールー等書記官の歓送会（銀座）。10月11日 キューバ移民原田茂作氏夫妻来日歓迎の集い、39名参加11月（新宿・ともしび）。11月20日 大阪・京都・兵庫・東海支部主催「日本キューバ友好の夕べ」、キューバ代理大使マリア氏参加（大阪）。11月28日 日本キューバ「秋の野外交流会」69名参加（神奈川・相模湖）。**写真。**12月16日 元東京キューバン・ボーイズ指揮者の見砂直照氏の「文化功労賞受賞記念祝賀会」（キューバ大使館）。12月17日 年末望年パーティ、100名参加（生協会館）。



## 1983年

2月15日 協会創立20周年期年号発行（119号）協会20年のあゆみを掲載。2月15日 協会創立20周年記念の夕べ、石原忠男理事長が協会を代表して挨拶、オルガ・チャメロキューバ大使代理・尾崎陸日本AA代表委員が来賓挨拶、キューバの子どもたちが歌と踊りを披露。詩人の小森香子氏が「20年のあいさつ」を朗読。百数十名参加（生協会館）。4月14日 キューバ友好協会・チリ人民日本連帯委員会・日本AA・東京AA・婦団連の5団体共催で「アメリカの介入糾弾！ニカラグア・中米・カリブ海諸国人民との連帯集会」約100名参加（水道橋・労音会館）。



5月29日 第20回総会、1983年度役員選出（121号掲載）

理事長 石原忠男 副理事長 伊藤堅二、小林勇、南雲清 常任理事 青柳四郎、安藤次男、石川利二、市川裕、内山俊光、大島俊介、大西基夫、片岡幸彦、希代統、久保博、斉藤茂夫、嶋田祐曠、新庄修、高橋早代、田中正男、徳永瑞夫、中島州嶽、日暮学、藤井広徳、本田剛、松田茂久、三好四郎、山崎英明、吉田治子 理事 青山義男、江口朴郎、岡部廣治、金子勝、木田和男、君島孟雄、窪田精、神代修、福島正幸、高橋勝之、田中萬雄、谷口圭一、土井正興、鳥海滋、増田紘一、松尾恵子、守屋典郎、泰平国男、山根昭登、石黒馨 監事 池田倫子、大沼栄（神田・総評会館）。

7月22日 モンカダ兵営襲撃30周年記念の夕べ（キューバ大使館）。7月26日 モンカダ兵営襲撃30周年記念「日本キューバ友好・交流・懇談の夕べ。日本AA・東京AAと共催（渋谷勤労福祉会館）。11月7日 キューバ友好協会・チリ人民日本連帯委員会・日本AA・東京AA・婦団連・安保破棄中央実行委員会・日本平和委員会・東京平和委員会・全学連・民青の10団体共催で「アメリカのグレナダ侵略糾弾、即時撤退要求、レーガン来日反対緊急集会」開催。抗議文採択。翌日アメリカ大使館を訪れ手渡す。11月27日 日本キューバ友好「秋の野外交交流会」36名参加（高尾山）。キューバ革命勝利25周年記念祝賀「望年パーティ」（労音会館）。

## 1984年

1月25日 キューバ革命勝利25周年記念の夕べ（渋谷・勤労福祉会館）。1月27日 来日したICAP 総裁レネ・ロドゲリス氏と副総裁のマリオ・ロドゲリス氏と協会役員が懇談（大使館）。4月4日 日本AAの招きで来日したニカラグア、サンディニスタ民族解放戦線のドリス・ティヘリノ司令官ら代表3名と懇談に石原忠男理事長らが参加。4月20日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利23周年記念「映画と講演会」（神田・総評会館）。4月22日 日本キューバ「春の野外交交流会」60名参加（八王子・滝山城址）。6月3日 第21回総会（豊島区勤労福祉会館）。7月20日 チリ人民連帯委員会と共催でモンカダ兵営襲撃、パブロ・ネルーダ生誕記念「中南米人民連帯学習会」（渋谷区勤労福祉会館）。8月20日 ホセ・A・ゲーラ前キューバ大使歓迎会（新宿・ともしび）。10月31日 連続講座第1回「激動する中南米」、中南米研究家の岡知和氏が「緊迫する中米・カリブ海」、同真弓美果氏が「ニカラグアみたま」を講演（豊島区勤労福祉会館）。11月4日 日本キューバ野外交交流会、65名参加（埼玉・飯能）。11月16日 アマデオ・ブランコ新キューバ大使夫妻の歓迎会（銀座）。11月13日 連続講座第2回「激動する中南米」、河合恒生愛媛大助教授が「ラテンアメリカの政治・権力・軍隊」を講演（労音会館）。12月13日 連続講座第3回「激動する中南米」ジャーナリスト増田紘一氏が「中米・カリブ海の戦争と平和」を講演（渋谷区勤労福祉会館）。12月24日 キューバ革命勝利26周年記念・ブランコ新大使歓迎の日本キューバ友好の夕べ、日本空手道常心門連盟会長の池田奉秀氏らが演技・組手を披露、キューバの子どもたちが歌と踊りを披露する。140名参加（豊島区勤労福祉会館）。

## 1985年

1月24日 連続講座第4回「激動する中南米」、岡部廣治津田塾大教授が「キューバ革命とラテンアメリカ」を講演（渋谷勤労福祉会館）。2月27日 連続講座第5回「激動する中南米」、ラテンアメリカ研究家野村明子氏が「ラテンアメリカ大国のかかえる問題と背景」を講演（渋谷勤労福祉会館）。3月11日 スペイン語教室の受講生13名がキューバ人のエスキベル氏夫妻宅を訪問し実地授業。3月29日 連続講座第6回「激動する中南米」、徳永俊明駒沢大助教授が「80年代ラテンアメリカ経済の動向」を講演（渋谷勤労福祉会館）。4月7日 日本キューバ「春の野外交交流会」60名参加（神奈川・弘法山）。4月15日 ブランコキューバ大使と第1回定例懇談会（大使館）。4月19日 連続講座最終回「激動する中南米」、ジャーナリストの岡田則男氏が「米国の中米政策と中米人民の闘争」を講演（渋谷勤労福祉会館）。5月3日 大阪堺市で第26回赤旗まつりに出店。夜は全国交流懇談会（大阪難波）。6月2日 第22回総会（渋谷勤労福祉会館）。写真は22回総会の記念写真。7月18日 ブランコキューバ大使と第2回定例懇談会、「キューバの婦人問題」（大使館）。7月



27日 モンカダ兵営襲撃32周年記念・日本キューバ友好・夏の交流会・東京湾一週納涼船。8月14日 原水禁世界大会に参加するため来日したニカラグア平和委員会会長オルガ・アビドレス氏を囲む各界代表者懇談会、日本平和委員会・日本AALAとの共催（東京・千駄ヶ谷）。8月23日 ICAPアジア担当次席のアマド・ルイス・リベロ・アコスタ氏の歓迎・懇親会（銀座・ニュートウキョウ）。9月20日 ニカラグアへの干渉に対し、日本AALA・チリ人民連帯日本委員会・婦団連・平和委員会とともにアメリカ大使館へ抗議。9月27日 日本国際友好連帯団体連絡会結成。日本キューバ・日ソ・日中・日ベト・日朝・日本AALA・日本ラオス・日本カンボジア・パレスチナ人民連帯・チリ連の十団体が参加（神田・学士会館）。9月27日 ブランコキューバ大使と第3回定例懇談会、「キューバの青年問題」（大使館）。10月30日 キューバ文化の日・記念の夕べ、友好協会からは10名参加（大使館）。11月17日 日本キューバ友好秋の野外交交流会、40名参加（神奈川・相模湖）。12月24日 日本キューバ友好望年会、90名参加（労音会館）

## 1986年

1月25日 キューバ革命27周年記念講演会、30名参加（渋谷勤労福祉会館）。3月28日 キューバ大使定例懇談会「キューバの漁業について」キューバ大使館。4月13日 日本キューバ友好春の野外交交流会、80名参加（井の頭公園）。4月18日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利25周年・講演と歌の夕べ、岡部広治津田塾大教授が「中南米・今、新しい時代に向かって」を講演、45名参加（渋谷勤労福祉会館）。5月25日 第23回総会、40名参加（神田・総評会館）。5月末



に沖縄で予定された日本・キューバのバレーボールの親善試合を外務省が「国益」を理由に中止を要請、安倍外相に協会と宜野湾市議会全会一致で抗議、試合は実現した。7月27日 モンカダ兵営襲撃33周年記念夏の交流会（東京湾一周納涼船）。10月17日 キューバ大使定例懇談会「キューバと非同盟運動」キューバ大使館。11月2日 日本キューバ友好秋の野外交交流会、60名参加（東京・赤塚城跡）。12月8日 日本美術会の代表、キューバを訪問し、キューバ文芸作家同盟（UNEAC）美術部会との間で美術交流協定を締結。10月10日 田中正男常任理事は協会を代表してキューバを訪問し、桜の苗木（寒緋桜）を贈る。内山俊光・石山登両常任理事同行。214名以上の方々からカンパをいただく。ICAPとの「友好協力協定」を延長。協会25周年記念行事などICAPと懇談。12月23日 日本キューバ友好望年パーティ90名参加（池袋・勤労福祉会館）。

## 1987年

1月23日 キューバ革命28周年記念の夕べ、田中正男常任理事が「昨年訪問したキューバの帰国報告」、日本美術会の永井潔氏が「美術交流協定」について報告した。2月20日～22日 日本キューバ友好スキーツアー、32名参加（長野・戸隠）。4月5日 日本キューバ春の野外交交流会、80名参加（練馬・石神井公園）。4月22日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利26周年・記念の夕べ（渋谷勤労福祉会館）。5月31日 第24回総会。新理事長に岡部広治氏選出。（飯田橋・労政会館）。6月5日～22日 キューバ音楽グループ「ロス・ノベルス」を招請。新潟、長野、埼玉、東京、名古屋、大阪、京都の各地で演奏会。のべ3,500名が参加。7月17日 キューバ大使定例懇談会「モンカダ兵営襲撃について」キューバ大使館。7月26日 日本キューバ友好夏の交流会、40名参加（東京湾一周納涼船）。8月29日～9月4日 キューバ・シネマウイーク、「ルシア」など6作品を上映（東京・大森キネカ）。10月16日 チェ・ゲバラ没後20周年記念の夕べ（大使館）。11月15日 日本キューバ友好秋の野外交交流会、65名参加（埼玉・飯能）。12月25日 望年パーティ、100名参加（労音会館）。

## 1988年

1月25日 革命29周年記念「友好の夕べ」、50名参加（労音会館）。2月19日～21日 第2回日本キューバ友好スキーツアー、26名参加（群馬・水上高原）。2月28日～3月12日 日本アンデパンダン展にキューバの画家40名による作品120点が展示される。（東京・上野）。4月3日 日本キューバ春の野外交交流会、70名参加（東京・北区）。5月22日 第25回総会（青山・日本青年館）。8月2日 モンカダ兵営襲撃35周年記念

夏の交流会、40名参加（東京湾一周納涼船）。8月15日 キューバのアルト・サクソフォン奏者、ミゲル・ビジャフルエラ氏の演奏会、80名参加（東京・神田）。9月30日 石原忠男名誉理事長、キューバ共和国国家評議会より「連帯メダル」が授与される（大使館）。11月15日 キューバ料理とうたごえの夕べ、「ピカディージュ」や「コングリ」など、キューバ大使館のシェフ長ペドロさんが腕をふるう（東京小岩・ともしび）。12月4日 「キューバ料理講習会」ミカエラ・ラミレス一等書記官とシェフ長のペドロさん（長野県諏訪市）。12月5日 日本キューバ友好協会創立25周年、キューバ革命勝利30周年記念祝賀会、100名参加（豊島勤労福祉会館）。日本とキューバ150号発行（タブ4ページ）、協会創立25周年記念特集号、「日本キューバ友好協会25年の歩み」と「キューバ革命までの軌跡」を掲載。12月25日 日本キューバ友好の年末パーティ（水道橋・労音会館）。写真は東京労音みきの会のもちつきばやし。



## 1989年

2月10日 日本AALAの主催で「アマデオ・ブランコ駐日キューバ大使を囲む懇談会」31名参加（東京青山会館）。2月23日～26日 スキーツアー、24名参加（蓼科高原）。3月8日 第2回中南米連続講座「サンデューノ主義とニカラグア革命」講師田中靖宏氏（渋谷勤労福祉会館）。4月9日 春の野外交流会、60人参加（練馬区石神井公園）。4月19日 第3回中南米連続講座「プラヤ・ヒロン戦闘勝利と今日のキューバ」講師はキューバ大使館のレネ・カストロ参事官（キューバ大使館）。5月21日 第26回定期総会（東京・総評会館）。5月30日 第4回中南米連続講座「ラテンアメリカを旅して」講師は岡部広治協会理事長（渋谷勤労福祉会館）。6月26日 第5回中南米連続講座「インディオって何だ」講師清水透氏（水道橋・カンダパンセ）。7月28日 シンポジウム「キューバ革命の歴史と現状について」講師は岡部広治氏（協会理事長）、岡知和氏（中南米研究家）、田中靖宏氏（ジャーナリスト）。（カンダパンセ）。8月12日 全国理事会、89年度新役員決定



名誉理事長 石原忠男、理事長 岡部廣治、副理事長 小林勇 伊藤堅二、常任理事 石川利二 石山登 市川裕 内山俊光 浦野保範 大島俊介 希代統 久保博 斉藤茂夫 嶋田祐廣 新庄修 田中正男 鶴田満彦 徳永瑞夫 平野恵美子 日暮学 本田剛 松野哲郎 山崎英明 吉田治子、理事 青柳四郎 池田倫子 大西基夫 金子勝 木田和男 窪田精 神代修 神津定代 斉藤静子 福島正幸 正田達雄 谷口圭一 土井正興 増田紘一 萬代敬三 守屋典郎 松本信平 田中萬雄 山根昭登 永井潔 富田憲二 高久綾子 氏家偕子、監事 松尾恵子、顧問 蔵原惟人。

10月7日 グルーポ・パティを迎えてキューバ音楽の夕べを開く（江戸川区・ともしび）。写真はグルーポ・パティの演奏。10月30日 第8回中南米連続講座「解放の神学と今後のラテンアメリカ」講師は後藤政子さん（新宿・農協会館）。11月12日 アマデオ・ブランコキューバ大使を囲む懇談会、最近のキューバ情勢のお話と懇談。12月19日 日本キューバ友好ダンスパーティ。110名参加（水道橋・カンダパンセ）。

## 1990年

1月26日 トーク&ビデオの会。キューバ 革命と民主主義の現状、パナマ 米軍侵略をめぐる真相。パネリストに岡部廣治理事長・田中靖宏氏・岡知和氏、51名参加（渋谷勤労福祉会館）。4月24日 日本キューバ友好の夕べ（新橋・平和と労働会館）。6月7日 日本婦人団体連合会会長の榎田ふきさんに「アナ・ベタンクール勲章」の授賞式（キューバ大使館）。6月10日 第27回定期総会（日本青年館）。7月11日 国際花と緑の博覧会。7月31日 東京湾一周納涼船、38名参加。9月17日 協会事務所を現在の湯島の労音お茶の水センター3階に移転。10月10日 新ラテンアメリカ映画祭に参加するため来日したキューバ映画芸術産業庁

(ICAIC)長官、文化省次官のフリオ・ガルシア・エスピノサ氏と懇談(協会事務所)。11月23日「最近のキューバ事情について」講演会、講師石山登常任理事。12月8日望年会 BAILEMOS(踊りましょう)。キューバ大使館より鍋一杯の ARROZ CON POLLO(キューバ風チキンライス)が提供された。53名参加(会館地下ホール)。

## 1991年

2月15日～17日 友好スキーツアー(戸隠)。3月9日 アマデオ・ブランコキューバ駐日大使を囲む懇談会(協会事務所)。4月11日 ブランコ大使ご夫妻の送別会、日本 AALA と共催(青山会館)。5月11日 定例懇談会 SALON DE UNEAC に参加した画家の直江啓示さんからキューバでの展覧会、キューバ人作家の紹介など。5月23日 キューバ・スポーツ庁副長官アルベルト・ファントレーナ氏と懇談(協会事務所)。5月26日 第28回定期総会(東京・新大久保・労音会館)。7月13日 モンカダ兵營



襲撃 38周年記念講演会。キューバ大使館商務参事官ホセ・オルタ氏が「今日のキューバ」を講演。20数名が参加(協会事務所)。7月25日 東京湾一周納涼船、40数名が参加。**写真**。8月10日 キューバからの留学生を囲む懇談会、留学生の選考基準など質疑応答、キューバのカクテルを味わい、サルサを踊った有意義な交流となった。20数名が参加(協会事務所)。**写真は交流会参加者**。10月例会 園田幸朗さんの話を聞く会「キューバー人旅」(協会事務所)。



11月11日 エバンヘリーナ・セオアネス ICAP 副総裁とニエバス・アレマニキューバ婦人連合書記局長が来日し、友好協会や原水協、平和委員会と交流。11月28日～1月28日 ちひろ美術館でキューバのマルティネスさんの企画展。12月1日 エドワルド・デルガード・ベルムーデス氏が新駐日キューバ大使として着任。12月20日 望年パーティ

## 1992年

1月16日 協会役員と新キューバ大使エドワルド・デルガード・ベルムーデス氏と懇談、岡部理事長他10名が参加(大使公邸)。2月15日 2月定例懇談会「現在のキューバ情勢」、講師はハバナ大学教授ペドロ・モンソン・バラダ氏(協会事務所)。4月7日 ハバナで開催された「マルティ国際会議」に岡部廣治理事長、神代修・石山登常任理事3名参加。5月16日 セルヒオ・コリエリ ICAP 総裁講演会「今キューバは訴える」(豊島勤労福祉会館)。



5月17日 第29回定期総会(豊島勤労福祉会館)。6月15日 神代麻子さんピアノリサイタル「スペイン音楽とキューバ音楽の夕べ」(赤坂・草月ホール)。8月1日 東京湾一周納涼船交流会。9月12日 定例懇談会、石井弘氏「ハバナ・ギターフェスティバルの報告」(協会事務所)。10月17日 定例懇談会、上坂記者「キューバ取材を終えて」(協会事務所)。10月24日～12月11日 ラテンアメリカ映画祭、キューバ映画7本上映(キネカ錦糸町)。11月17日 「キューバとラテンアメリカの映画をめぐる情勢」講師は映画評論家の山田和夫氏。12月7日 日

本キューバ友好望年パーティ 93名参加(豊島勤労福祉会館)。**写真は望年パーティで演奏する参加者**。

## 1993年

1月26日 新年のつどい、「キューバ革命の歴史的意義」講師は岡部廣治理事長、40名参加(神田パンセ)。2

月 27 日 例会、キューバ国立民俗舞踊団短期留学生ランダウ佐保里さん（会員）とキューバ・ラテンアメリカ映画祭に参加した樋口さんが報告（協会事務所）。4月4日 春の野外交交流会（練馬・光が丘公園）。5月16日 第30回定期総会（豊島勤労福祉会館）。7月31日 協会創立30周年「東京湾納涼船交流会」。11月27日 デルガード大使を囲んで懇談会「最新のキューバ事情を聞く」、20 数人参加（協会事務所）。12月27日 機関紙180号 無敵を誇るキューバ女子バレーボールチーム、駐日キューバ大使参事官ミカエラ・ラミレスさんが語る。12月8日 デルガード大使と医療関係者が懇談。日本キューバ科学・技術交流委員会専務理事の田中萬雄氏が「科学・技術交流の分野を通してみたキューバ」と題したお話し（神田・学会館）。

## 1994年

1月26日 デルガード大使定例記者会見、内外の新聞社30名が参加（大使館）。3月5日 定例懇談会、氏家偕子氏「この目で見たキューバ」のお話し（協会事務所）。4月3日 恒例の花見（石神井公園）。4月29日 「キューバの歌と音楽の夕べ」群馬の女性歌手マルガリーダ・恩田さん（高崎市民文化会館）。4月 定例懇談会「最近のキューバの農業」田中萬雄氏。5月22日 第31回定期総会（四谷・主婦会館）。7月15日 定例懇談会「キューバの福祉と働く母親」ニルシア・カストロさん（協会事務所）。

7月20日 機関紙184号発行。

1994年度役員 名誉理事長 石原忠男、理事長 岡部廣治、副理事長 伊藤堅二 小林勇 鶴田満彦、常任理事 石山登 石川利二 植前武彦 浦野保範 桐陣一 希代統 久保博 斉藤茂夫 斉藤静子 嶋田祐曠 新庄修 高久綾子 田中正男 徳永淳 日暮学 本田剛 松尾恵子 松野哲郎 戸坂志明 山崎英明 吉田治子 ランダウ佐保里、理事 青柳四郎 池田倫子 石井弘 市川裕 氏家とも子 大西基夫 金子勝 窪田精 神代修 神津定代 小松崎永夫 副島正幸 高野五郎 田村寛貞 永井潔 萬代敬三 増田紘一 山根昭登 山田和夫 平野恵美子、監事 増澤誠一、顧問 榎田ふき。

7月26日 「キューバ人との交流会」女性だけのバンド KANERA の演奏（新宿・歌舞伎町ライブハウス COCOLO・CO）。8月20日 「森の中の音楽会」（長野軽井沢・土屋善夫宅）。8月22日 常任理事会、事務局員選出。片桐・希代・小松・高木・高久・田中・徳永・樋口・増澤・森広・山崎・吉田の各氏。10月1日 キューバダンス教室開催、毎週土曜、12回分、24,000円（下北沢・スタジオ・ルウ）。10月6日 キューバで空手道世界大会。常心門浜松支部の塚本勝博さん（会員）が参加。10月8日 キューバ映画「莓とチョコレート」合評会（協会事務所）。11月21日 「キューバ連帯世界集会」（ハバナ）に常任理事の樋口聡氏他1名が参加。12月10日 望年会、65名参加（渋谷・レストラン・ムチャーチャ）。

## 1995年

1月28日 「キューバ連帯世界集会」報告会。1月29日 大使館主催の「キューバ・サルサ・フェスティバル」（目黒区民センター）。4月9日 キューバ人との野外交交流会（練馬・光が丘公園）。4月14日 キューバを知る連続講座「キューバ革命とラテンアメリカ」講師は岡部廣治理事長（飯田橋・労政会館セントラルプラザ）。5月14日 第32回定期総会。「キューバ入門」小冊子発刊、定価700円、24名参加（文京区民センター）。6月17日 第2回キューバを知る連続講座。マルチ記録ビデオ上映。「キューバ革命の使徒ホセ・マルティ」講師はデルガードキューバ大使。「ホセ・マルティの生涯とその業績」講師は神代修理事（飯田橋・労政会館セントラルプラザ）。7月8日 第3回キューバを知る連続講座。「人民権力制度と政治改革の現状」講師は河合恒



生岐阜経済大教授（中央区勤労福祉会館）。8月25日 第4回キューバを知る連続講座。「キューバの経済改革の行方」講師は新藤通弘常任理事。9月6日 キューバ国家評議会は長年の日本キューバ友好協会の連帯友好活動に対して「連帯勲章」を授与する決議を採択し、キューバ大使館にて授与式。9月29日 第5回キューバを知る連続講座。「神様に国境は無い・キューバ編」講師は早稲田大学の寿里順平氏（飯田橋・労政会館セントラルプラザ）。10月21日 第6回キューバを知る連続講座。「CUBA 砂糖

キビのカーテン」講師は共同通信の伊高浩昭氏（飯田橋・労政会館セントラルプラザ）。11月11日 第7回キューバを知る連続講座。「キューバ映画の魅力について」講師は映画評論家の山田和夫氏（飯田橋・労政会館セントラルプラザ）。12月2日 第8回キューバを知る連続講座「ノーチェ・トロピカーノ裏話」講師は竹村淳氏。12月12日 カストロ議長初来日。成田日航ホテルで協会役員と握手。写真。12月15日 エドアルド・デルガード大使送別会（レストラン高松池袋店）。

## 1996年

1月26日 キューバ革命勝利記念講演会。キューバ・ハバナ大学のウーゴ・ボンズ教授とアジア・オセアニア研究所のガジュゴ所長がキューバの現状について講演。3月18日 キューバ人エコノミストと日本の研究者との懇談会（国際文化会館）。4月7日 在日キューバ人との野外交流会、40名参加（練馬・光が丘公園）。5月新駐日大使としてエルネスト・メレンデス・バックス氏着任。5月19日 第33回定期総会、30名参加（文京区シビックセンター）。6月25日 機関紙200号発行、タブ6ページ、「私とキューバとの出会い」の掲載を始める。7月5日 キューバ料理教室（湯島生涯学習館）。7月27日 講演会「キューバ・スポーツの強さの秘密を探る」。講師はキューバ大使館商務参事官のニウルカ・アティエンサさん、スポーツライターの戸部良也氏。他に来日中の3人のコーチが参加（音羽生涯学習館）。11月30日 「キューバ音楽の至宝 ホセイト・ゴンサーレス ピアノ饗宴」（新宿 DUG）。

## 1997年

1月22日 キューバ文化大臣アルマンド・ハルト博士による講演会「キューバ、ラテンアメリカ、カリブ諸国、地域文化統合の選択肢」（渋谷・国連大学高等研究所）。1月22日 山田和夫氏（協会会員）に「キューバ文化功労賞」が贈られる。3月14日 第1回キューバ音楽を楽しもう「日本人がキューバ音楽を好むわけ?」、トークは高橋研二さん（特許庁ビル）。3月30日 キューバ人との交流会（代々木公園）。5月24日 第34回定期総会、20名参加（四谷区民センター）。6月6日 キューバ婦人連合代表との懇談会（協会事務所）。6月20日 講演会「キューバ経済改革の現状について」、講師はキューバ大使エルネスト・メレンデス・バックス氏とキューバ保税地区長官オクタビオ・カスティージャ・カンガス氏、（飯田橋・レインボーホール）。6月20日 第2回キューバ音楽を楽しもう「キューバ音楽の巨匠たち」、トークは高橋研二さん（特許庁ビル）。10月24日 第3回キューバ音楽を楽しもう「オマーラ・ポルトゥオンド来日に寄せて」、トークは高橋研二さん・竹村淳さん（特許庁ビル）。11月22日 シンポジウム「エルネスト・チェ・ゲバラの再検討」、報告者は岡部廣治理事長、新藤通弘常任理事、ペドロ・モンソンキューバ大使館参事官。60名参加（港区西桜福祉会館）

## 1998年

2月20日 ICAP代表のエバンヘリナ・セオアネ・ドミンゲス副総裁、アジア・オセアニア担当官のパトリシア・ペゴ・グエラ氏が来日し、歓迎・懇談会、参加者20数名（協会事務所）。3月29日 「キューバの子どもたちに学用品を送るための一カリビアン・ブリーズ&フレンズ陽春ライブ」元キューバン・ボーイズのメンバー（赤坂国際交流フォーラム）。4月5日 春の野外交流会、約50数名参加（代々木公園）。5月24日 第35回定期総会（港区西桜福祉会館）。6月2日 中央大学の社会科研究所、経済研究所、企業研究所など7つの研究所が共同主催してキューバ共和国メレンデス大使の「公開講演会」を開催。80名参加。6月20日 「キューバ音楽に関するシンポジウム」、キューバ音楽研究家の渡辺太郎氏が「東京キューバンボーイズ・サウンドの変遷」を講演（文京区民センター）。7月17日 ARTE CONTEMPORANEO DE CUBAの「レセプション」。ネルソン・ドミンゲス氏ら19人の画家の展覧会。レセプションでは氏家日本テレビ社長やコシノ・ジュンコ氏のスピーチ（東京・代官山ヒルサイドフォーラム）。8月31日～9月9日 協会創立35周年記念「キューバ友好訪問の旅」28名参加。10月17日 第2回「キューバ音楽に関するシンポジウム」、音楽研究家の高橋研二氏が「日本でマンボを最初に演奏したのは誰か?」



など講演（東京・四谷地域センター）。

## 1999年

2月24日 キューバ共和国ロベルト・ロバイナ外務大臣が日本を公式訪問、「大臣を囲む友好の集い」（東京・高輪区民センター）。4月4日 春の野外交交流会、80名参加（代々木公園）。5月22日 創立35周年記念祝賀会（豊島区・ラパスホール）**写真**。5月23日 第36回定期総会（港区西桜福祉会館）。5月25日～29日 キューバ現代美術展開催（港区高輪区民センター）。9月30日 アベル・プリエートキューバ文化大臣が来日し「キューバの文化の現状と展望について」を講演（国際交流基金国際会議室）。11月26日 キューバ映画上映会「フルカウト」（東京都写真美術館）。12月21日 キューバの音楽グループ「トリオ・テシス」の招聘と各地での公演（11/24～12/6）について懇談会（希代統・竹村淳・堀江伸二・毛利真帆・増澤誠一）。

## 2000年

4月2日 お花見交流会、90名参加（代々木公園）。4月3日 ICAP代表のエバンヘリナ・M・セオアネ・ドミンゲス副総裁とアリシア・エルビア・コレデーラ・モラレスアジアオセアニア担当官が来日し、歓迎と懇談会（四谷区民センター）。4月22日 講演会「日本・キューバ関係の現状と今後の展望」講師は金子満広衆議院議員（文京シビックホール）。5月28日 第37回定期総会を行う予定だったが、次期役員を選出する見通しが無いため、全国理事会を開催し次期総会まで役員留任とした（音羽生涯学習会）。9月6日～10日 第3回キューバ現代美術展 11月4日 秋の交流会、15名（上野公園）。11月22日 キューバの人民権力全国議会議長のリカルド・アラルコン・デ・ケサーダ氏来日し、キューバとの関係団体・関係者との懇談会（永田町・憲政記念館）。

## 2001年

1月27日 沖縄キューバ友好協会設立。1月29日 ハバナで開催された第3回「グローバル化と開発問題に関する経済学者国際会議」に鶴田満彦副理事長が参加。4月8日 春の野外交交流会・お花見（代々木公園）。7月12日 「7.26モンカダ兵営襲撃48周年記念集会」、岡部廣治理事長が「モンカダ兵営襲撃の歴史的意義」と題して講演（東京文京区・音羽生涯学習館）。

## 2002年

1月31日 協会創立40周年記念「日本キューバ友好の集い」、日本共産党副委員長の上田耕一郎氏が「キューバ訪問について語る」を講演、115名参加（文京区民センター）。10月25日 駐日大使エルネスト・メレンデス氏送別会（東京・港区 南青山会館）。11月2日～4日 第32回赤旗まつりに友好協会有志による「カリブ会」が出店。10月11日 緊急常任理事会、役員・臨時総会の日程を決める。10月 日本とキューバ臨時号を発行、岡部廣治理事長の訴え、希代統常任理事の経過報告を掲載、10月27日 日本キューバ友好協会臨時総会（文京区民センター）。

## 2003年

3月14日 駐日キューバ新大使オランダ・エルナンデス氏歓迎会、56名参加（新宿ワシントンホテル）。4月6日 桜の花見の集い、85名参加（代々木公園）。**写真は熱唱する毛利真帆常任理事**。5月28日 緊急講演会「イラク戦争と米国の反キューバ政策」講師岡部廣治理事長、29名参加（文京シビックセンター）。6月1日 第2回キューバ料理教室、38名参加（湯島生涯教育館）。

6月8日 第37回定期総会、会員数115名を確認（文京区民センター）。

7月4日 全国理事会、新役員の確認





理事長 岡部廣治、副理事長 石川利二 伊藤堅二 希代統 鶴田満彦、監事 浦野保範 高久綾子、名誉理事長 石原忠男、常任理事 淡谷真一郎 植前武彦 江原進 大脇千鶴子 片桐康平 新藤通弘 田中正男 徳永惇 徳永真理子 野口功夫 堀江しんじ 本田剛 増澤誠一 毛利真帆 桃井美由紀 森信義 山崎高明、全国理事 石井弘 石倉麻里 小野寺研一 金子勝 金安頭一 河合恒生 神代修 神代麻子 小池康弘 嶋田祐弘 副島正幸 田中稔久 西村富明 西脇恵子 福田一信 萬代敬三 吉田光正 渡辺皓司

7月21日～30日 協会創立40周年記念「キューバ友好ツアー」、24名参加 8月3日 カフェ・カンタンテ2「キューバの歌を歌おう!の会」、45名参加(港区六本木ボデギーダ)。9月22日 機関紙222号発行、A4版12ページ、「題字・奥付」を変更(2012年12月号の体裁)。10月3日 ラテンアメリカ バラエティー講座第3回「最近のキューバの外交政策」講師は新藤通弘常任理事。18名参加(文京シビックセンター)。10月4日 ホセ・ラモン・バラゲール政治局員を団長とするキューバ共産党代表団との懇談会。(新宿・ワシントンホテル)。12月13日 望年会20名参加(東京六本木・ボデギーダ)。12月19日 ラテンアメリカ バラエティー講座第4回「カリブの奇跡～キューバ もうひとつの革命～」講師は映像作家の安藤カーキー氏、21名参加(文京シビックセンター)。



## 2004年

1月18日 「キューバ共産党国際部副部長のオスカル・マルティネスコルドベス氏を囲む懇談会」岡部廣治理事長ほか6名参加(東京・新宿)。1月29日 「創立40周年記念の集い」、ブリーサ・デ・クーバの生演奏。各界から115名参加(全国教育文化会館エデュカス東京)。2月13日 キューバ映画「ハバナ組曲」のビデオ鑑賞会、41名参加(協会事務所)。3月5日 「キューバ革命戦跡を訪ねて」講師はジャーナリストの田端広英氏、18名参加(東京・文京シビックセンター)。3月28日 基地のない平和な沖縄をめざす会との共催でお花見の集い、80名参加(代々木公園)。5月25日 講演会「ベネズエラ革命—変貌するラテンアメリカの核心」講師は赤旗外信部長の田中靖宏氏、AALA連帯と共催、133名参加(千代田区エデュカス東京)。5月30日 第38回定期総会、会員数164名を確認。新理事長に鶴田満彦氏を選出、2012年12月現在の「規約」に改正(文京シビックセンター)。6月16日 「マルクス主義ハバナ会議と米国のキューバ敵視政策に抗議する会」(千代田区エデュカス東京)。協会ホームページ開設。6月30日 「ブリス・クーバ・帰国報告トーク&ライブ」44名参加(エデュカス東京)。7月23日 「キューバの持続可能な国づくり」講師は長野県農業大学教授の吉田太郎氏、36名参加(文京シビックセンター)。10月18日 講演会「ラテンアメリカにおけるベネズエラ」、講師は岡部廣治名誉理事長、32名参加(文京区民センター)。12月9日 講演会「巨象ブラジルの咆哮」、講師は赤旗外信部長の田中靖宏氏、AALAと共催。50数名参加(千代田区エデュカス東京)。12月17日 年末忘年会、28名参加(協会事務所)。

## 2005年

1月28日 講演会「第26回新ラテンアメリカ映画祭について」、講師はキューバ映画研究家の寺島佐知子氏、30名参加(文京区民センター)。2月9日 「キューバ研究会」開催、8名参加、会長に岡部廣治さん、事務局長に窪川庸介さんを選出(協会事務所)。2月28日 講演会「最近のキューバ情勢」、講師はキューバ大使のオランダ・エルナンデス・ギジェン氏、85名参加。写真。(文京シビックセンター)。3月9日 映画鑑賞会「グアンタナメラ」20名参加(協会事務所)。4月3日 「純キューバ国内産飛行機、フジヤマの空へ」、キューバ模型航空連盟副会長のミチエル氏が



ハンドランチ・グライダーを飛ばした。(武蔵野中央公園)。同日 基地のない平和な沖縄をめざす会との共催でお花見の集い、86名参加(代々木公園)。6月6日 第1回サルサ教室開始、全12回、16,000円、講師はヒマグア氏、参加者23名(千代田区・エデュカス東京)。(ちなみにスペイン語教室は5月9日に28期を開始した)。5月29日 第39回総会、会員185名を確認、5/13付でホームページ訪問者1,733名を確認、総会参加者20名(東京労働会館)。6月10日 講演会「ラテンアメリカはどこに向かうか」講師は前赤旗メキシコ特派員の菅原啓氏、AALAと共催。7月22日 キューバ情勢講演会、大使館のグリセル・エレラ商務参事官が「キューバにとっての7.26の意義」を講演し、鶴田満彦理事長がハバナで開催された「テロリズムに反対し、真実を求める国際会議」の報告。38名参加(文京シビックセンター)。10月12日 日本キューバ友好模型飛行機フェスティバル2005、鶴田満彦理事長他4名が参加(武蔵野中央公園)。10月22日 キューバ料理教室、30名参加(湯島生涯学習館)。11月28日 講演会「ベネズエラ革命と国際連帯」、講師はイシカワ・セイコウ駐日ベネズエラ大使、AALA・民青と共催、150名を超える参加者(千代田区エデュカス東京)。12月10日 常任理事会、会員210名を確認。同日 忘年会54名参加(今年はサルサを踊るように会場を労音お茶の水センター地下ホールとした)。12月19日 講演会「キューバ経済発展と展望」ハバナ大学経済学部教授のオマール・エベルレニ・ペレス氏(文京シビックセンター)。

## 2006年

1月15日 キューバ共産党国際部アジアコーディネーターのイルダ・バサヨ氏を招いて歓迎懇親会、AALAと共催。17名参加。1月18日 第9回ビデオ鑑賞会「公園からの手紙」(協会事務所)。2月24日 講演会「ラテンアメリカの変革におけるキューバとベネズエラの役割」、講師は新藤通弘常任理事、40人参加(文京区・全労連会館)。3月16日 エルナンデスキューバ大使と懇談会。1998年にスパイ罪で米国に逮捕された5人の釈放と支援、グアタナモ米海軍基地と収容所の返還の訴え。鶴田満彦理事長と田中正男常任理事が出席。4月1日 春のお花見、60人が参加(渋谷区・代々木公園)。4月17日 プラヤ・ヒロン戦闘勝利45周年講演会「プラヤ・ヒロン戦闘勝利の世界史的意義」、講師は田端広英常任理事(文京シビックセンター)。5月17日 機関紙250号発行、総会特集号。5月28日 第40回定期総会(文京区・千石生涯学習館)。6月10日 キューバ料理教室、30名参加(文京区・アカデミー茗台)。6月28日 第11回キューバを知る会「好調キューバ経済の実態」新藤通弘常任理事(協会事務所)。7月14日 キューバ情勢講演会「世界史におけるフィデル・カストロ」、講師は岡部廣治名誉理事長、31名参加(文京シビックセンター)。7月21日～30日 キューバ友好ツアー、近年になく多い21名参加。9月15日 第15回キューバ映画ビデオ鑑賞会「ハバナ」(協会事務所)。10月23日 講演会「キューバの対外政策と非同盟運動」、講師は駐日キューバ大使オルランド・エルナンデス・ギジェン氏、73名参加(エデュカス東京)。12月9日 望年会、36名参加(労音お茶の水センター地下ホール)。

## 2007年

1月24日 第16回キューバ知る会「キューバの医学教育」。報告者は平瀬枝里子氏と新藤通弘氏(協会事務所)。1月26日 講演会「ラテンアメリカの変革をどうみるか」、講師は前赤旗メキシコ特派員の菅原啓氏、37名参加(文京シビックホール)。2月3日～12日 第1回キューバサルサツアー 松竹照代・山崎英明両常任理事他6名が参加(キューバ・ハバナ他)。3月9日 講演会「ラテンアメリカ音楽を旅する」、講師は東京大学准教授の石橋純氏、67名参加(文京シビックセンター)。3月28日 第18回キューバ知る会「キューバの美術」、報告者は古沢ゆりあ会員。4月1日 春のお花見、60名参加(渋谷・代々木公園)。4月18日 サルサツアー報告会、10名参加(協会事務所)。5月27日 第41回総会、会員264名を確認。(文京区アカデミー千石)。6月30日 キューバ料理教室、40数名参加(文京区アカデミー湯島)。7月27日 講演会「キューバ、ラウル指導下の1年」、講師は常任理事の新藤通弘氏、27名参加(文京シビックセンター)。8月3日 駐日キューバ大使オルランド・エルナンデス氏送別会、AALAと共催、50名参加(エデュカス東京)。10月12日 講演会「第2回ラテンアメ



リカを旅する」、講師は前回と同じ東京大学准教授の石橋純氏、51名参加（文京シビックセンター）。11月12日 キューバ知る会、横浜市立大学国際文化学部の学生の鬼塚丈徳氏が「キューバの貧困について」を報告（協会事務所）。11月25日 講演会「キューバの医療事情」、講師は長野県農業大学教授の吉田太郎氏。42名が参加（アカデミー茗台）。12月8日 望年会60名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。12月10日 講演会「米国・キューバの対立」、講師はハバナ大学付属米国研究所副所長のルイス・レネ・フェルナンデス博士。

## 2008年

1月18日 講演会「キューバの外交政策」講師は新任キューバ大使のホセ・フェルナンデス・コシーオ氏、57名参加（エデュカス東京）。2月8日 45周年記念文化講演会「キューバ音楽を語る」、講師はキューバ人音楽家のペドロ・バージェ氏、43名参加（文京シビックセンター）。2月29日 協会創立45周年記念祝賀会、69名参加（市ヶ谷・エデュカス東京）。3月14日 文化講演会「キューバ文化、その起源と発展をたどる」、講師はキューバ大使館参事官のタニア・ドミンゲス・ローサス氏、29数名参加（文京シビックセンター）。3月30日 お花見の会、60名参加（渋谷・代々木公園）。4月11日 キューバ音楽教室開講、全12回、受講料18,000円（労音お茶の水センター地下ホール）。5月25日 第42回総会、会員279名確認（文京区アカデミー茗台）。6月2日 第5回キューバ料理教室、46名参加（文京アカデミー湯島）。7月25日 講演会「モンカダ兵営襲撃の歴史的意義」講師は岐阜経済大学名誉教授の河合恒生氏。参加者30名（文京区アカデミー湯島）。8月末から11月にかけて三つの大型ハリケーンがキューバを直撃し大きな被害がでる。11月24日 「キューバ音楽のタベ」キューバ鹿児島クラブ主催、120名参加（鹿児島市鍛冶屋町ホール）。12月6日協会望年会、キューバハリケーンカンパ18,000円集まる（労音お茶の水センター地下ホール）。

## 2009年

1月31日 講演会「キューバの社会主義」講師は鶴田満彦理事長、60名参加（文京区民センター）。2月9日 キューバ大使館へハリケーンカンパを届ける。70名以上25万円。2月19日 キューバ知る会「キューバ医療・有機農業視察旅行」18名参加（協会事務所）。3月29日 春のお花見、55名参加（渋谷・代々木公園）。4月1日 ホームページ訪問者29,603件。5月19日 第36回キューバ知る会「キューバの最新情報」報告者関口昌男常任理事（協会事務所）。5月24日 第43回総会、26名参加（文京区民センター）。5月23日 第1回全国キューバ友好連帯集会、協会からは鶴田満彦理事長他9名参加（中央区ニカラグア文化センター）。5月26日 港区東麻布のキューバ大使館で鶴田満彦理事長に「キューバ共和国友好勲章」授与。6月5日 港区東麻布のキューバ大使館で四方和夫会員に「キューバ共和国友好勲章」授与。6月6日 第6回キューバ料理教室、49名参加（文京アカデミー湯島）。7月28日 講演会「キューバ革命から半世紀—中南米に実現したゲバラの夢」、講師はジャーナリストの伊藤千尋氏、60名を超える参加者（文京区民センター）。8月25日 第38回キューバ知る会「夫婦でキューバ民宿気まま旅」、報告者は岡吉流美会員、9名参加（協会事務所）。9月20日 目黒SUN（さんま）まつり「キューバの店」を出店。9月29日 「革命50周年記念第12回キューバ現代美術展」、キューバ大使館とアトリエどんぐり共催

（高輪区民センター）。11月17日～21日 「第5回5人解放の国際集会（キューバ・オルギン）」に、長谷川朗・瀧澤優子常任理事が協会代表として参加。11月27日 講演会「私の体験したキューバ革命」、講師は駐日キューバ大使ホセ・フェルナンデス・デ・コシーオ氏、40名参加（文京スポーツセンター）。11月28日～29日 第15回東京科学シンポジウムへ出展「キューバ革命50年、日本・キューバ友好の展示とイベント」。壁新聞・映画・ミニライブ。（中央大学多摩キャンパス）。12月12日 望年会、56名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。



## 2010年

3月14日 講演会「5人のキューバ人問題」、講師は瀧澤優子常任理事、17名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。3月28日 春のお花見、70名参加（渋谷・代々木公園）。4月30日～5月4日 「キューバ・ジ

「ジャパン ダンスと音楽のタベ」ナルシソメディナカンパニー主催、18組のグループが出演。協会からしみずたえこ会員外多数が参加。5月30日 第44回定期総会、26名参加（文京区民センター）。6月20日 「韓国・キューバ交流協会」のイ・スヒョンさんと懇談（協会事務所）。6月26日 キューバ料理教室、44名参加（文京アカデミー湯島）。7月27日 講演会「今日のキューバとラテンアメリカ」講師は日本共産党国際局次長の神田米造氏、37名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。8月22日 キューバ映画ビデオ鑑賞会「怒りのキューバ」14名参加（協会事務所）。9月8日 機関紙300号発行、A4判10頁フルカラー。機関紙のあゆみを掲載。10月11日 鳥取大学医学部の足立さんほか3名とキューバ医療などについて懇談（協会事務所）。10月20日 アレイダ・ゲバラさん（チェ・ゲバラの娘さん）と、懇談と会食、20名参加（東麻布のレストラン）。11月17日～21日 第6回5人の解放を求める反テロ国際会議。津崎至理事が協会代表として参加（キューバ・オルギン）。11月20日 「fiesta de japon y cuba」を開催、48名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。11月26日 講演会「ラテンアメリカの情勢」、講師は千葉商科大学名誉教授の吉川久治氏。（文京区民センター）。12月5日 望年会、36名参加（労音お茶の水センター地下ホール） 写真。

## 2011年

1月25日 ビデオ鑑賞会「サルサ」（協会事務所）。2月16日 港区東麻布のキューバ大使館で大脇千鶴子常任理事に「キューバ共和国友好勲章」授与。3月11日 14時46分 東日本大震災発生。4月3日 お花見を予定していたが「東日本大震災被災者救援を考える」懇談会に変更、23名参加、当日参加者から76,000円のカンパをいただく（労音お茶の水センター地下ホール）。4月17日 講演会「ブラヤ・ヒロンの闘いと第6回キューバ共産党大会について」、講師はキューバ大使館の政務参事官のアンドレス・ゴンザレス・バジェステル氏。19名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。5月29日 第45回定期総会、26名参加（文京区民センター）。6月25日 キューバ料理教室、42名参加（文京区・アカデミー湯島）。7月24日 講演会「キューバのめざす社会主義」、講師は鶴田満彦理事長、34名参加（文京区アカデミー茗台）。9月14日 「アリシア ICAP 副総裁歓迎会」、日本民医連と共催。19名参加（文京区・東京ガーデンパレス）。9月17日 「第2回全国キューバ友好の集い」、協会から鶴田満彦理事長ほか十数名が参加（全日通霞ヶ関ビル）。10月6日 「米国の対キューバ経済・通商・金融封鎖を終了する必要」について、駐日キューバ大使フェルナンデス・デ・コシーオ氏が記者会見（キューバ大使館）。11月1日 キューバ映画鑑賞会「チェ・ゲバラ&カストロ」20名参加（協会事務所）。12月10日 望年会、60名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。写真。12月26日 2011サルサ教室打ち上げパーティ、20数名参加（勝どき・東京タワーズ）。



## 2012年

1月13日 退任予定のアンドレス・ゴンザレス・バジェステル参事官とモニカ・マルティネス一等書記官の送別会、協会からは鶴田満彦理事長ほか十数名参加（日本橋・XEX）。写真は200キロのマグロに包丁を入れるすぎんまい木村清社長とアンドレス夫妻。2月18日 新春講演会「最近のキューバを訪問して」講師は日本共産党副委員長の緒方靖夫氏、88名参加（文京シビックセンター）。4月8日 お花見、60数名参加（渋谷・代々木公園）。4月14日 津崎至理事の本「GROTESQUEなアメリカ オバマ殿よ『キューバの英雄・5人』を解き放ちなさい」の出版を祝う会（協会事務所）。4月22日～5月6日 第7回メーデー国際ブリガダに松竹照代常任理事が協会代表として参加。



5月27日 第46回総会（文京区・アカデミー茗台）。協会第46期役員名簿  
 理事長 鶴田満彦、副理事長 金子勝 希代統 西村富明、監事 浦野保範 田中正男、常任理事 今井文夫 大西玲子 大脇千鶴子 北林美代子 工藤昌宏 酒井優子 桜井啓子 関口昌男 高濱みや子 瀧澤優子 佃誉

史 徳永治子 名和敬雄 長谷川朗 廣田憲威 本田剛 増澤誠一 松竹照代 柳沢啓子 藪田剛由 山崎英明 横山一行、理事 石川利二 岩田勝雄 浦野喬 浦野浩 江原進 江原浩子 小河和男 小野寺研一 甲斐悟 神代麻子 神代修 小谷崇 佐々木博光 定岡敏行 清水多恵子 瀬戸岡紘 副島正幸 高科憲邦 建部正義 田中稔久 塚本勝博 津崎至 福田一信 丸山博美 宮本真樹子 森信義 吉村駿一。

6月17日 ブリガダ報告・交流会、報告者は松竹照代常任理事、23名参加（労音お茶の水センター地下ホール）。7月14日 7.26 記念講演会「キューバの経済・社会モデルの革新」、講師は駐日キューバ大使のホセ・フェルナンデス・コシーオ氏、62名参加



（文京区・アカデミー茗台）。8月3日 ホセ・フェルナンデス・デ・コシーオ大使ご夫妻の送別会、民医連と共催、43名参加（アルカディア市ヶ谷）。8月24日 キューバ映画鑑賞会「キューバの恋人」14名参加（協会事務所）。10月22日 キューバ映画「コマンダンテ」鑑賞会、10名参加（協会事務所）。10月30日 新しく着任した駐日キューバ大使マルコス・ロドリゲス・コスタ氏と懇談会、鶴田満彦理事長外4名が参加（東麻布の



キューバ大使館）。11月3日 キューバ料理教室、36名参加（文京区・アカデミー湯島）。12月7日 ホームページ訪問者 46,886 人を確認。12月8日 望年会、93名参加（労音お茶の水センター地下ホール・第2会場協会事務所）。12月12日 機関紙 327 号発行。会員数 244 名確認。

写真は2012年キューバ・メーデー（松竹照代さん撮影）

## 2013年

1月10日 第50期スペイン語教室開講、担当高濱みや子常任理事。1月11日 第23期サルサ教室開講、担当松竹照代常任理事。1月23日 第14期音楽教室開講、山崎英明常任理事。2月16日 50周年記念講演会・祝賀会（東京中野サンプラザ）。

## 編集後記

日本キューバ友好協会に加入して日はまだ浅いのですが、今回偶然にも「50年のあゆみ」の製作に関わることができました。事務所に残されている機関紙や資料と、山崎英明さんが所蔵していた機関紙を拝読しました。機関紙に掲載された全ての記事や取組みを網羅することはできませんでしたが、創立当初の数々の困難や、事務所維持のために全国の会員へのカンパの要請、そして総会の延期や再開、絶え間ない活動と会員の拡大を続け、キューバのみなさんや大使館との友好を築いてきた軌跡をまとめさせていただきました。

キューバではまだまだ幾多の困難を抱えていますが、友好協会の活動を通じて支援や激励を続けていきたいと思えます。

常任理事 長谷川 朗



## 発行 日本キューバ友好協会

住所 113-0034 東京都文京区湯島 2-7-8 労音お茶の水センター

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/aajc/>

Tel/Fax 03-5689-5403 E-MAIL:japan-cuba@nifty.com

編集 長谷川 朗 写真 山崎 英明 表紙 徳永 治子